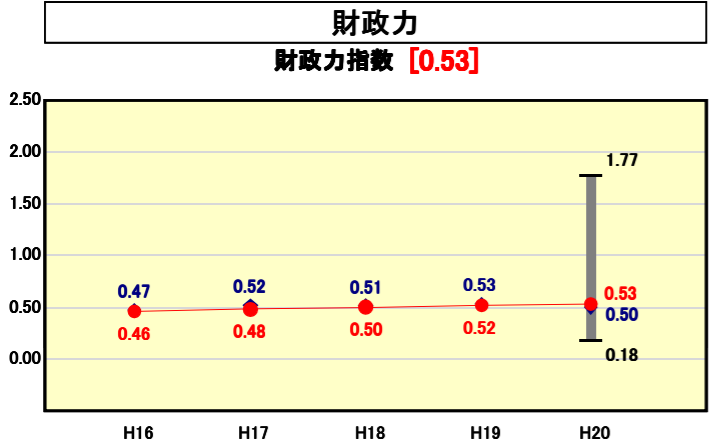


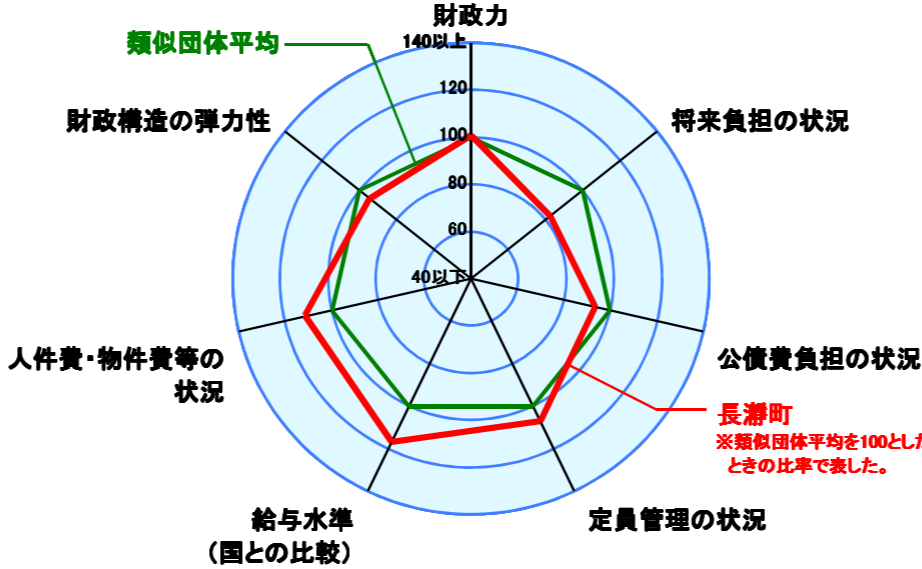
市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



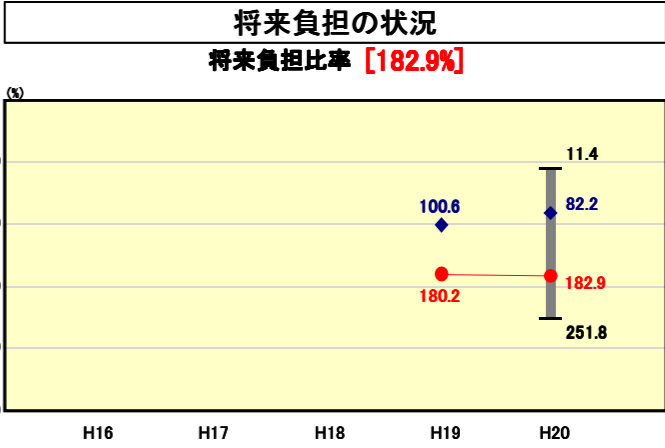
● 当該団体値
◆ 類似団体平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 26/78
全国市町村平均 0.56
埼玉県市町村平均 0.86

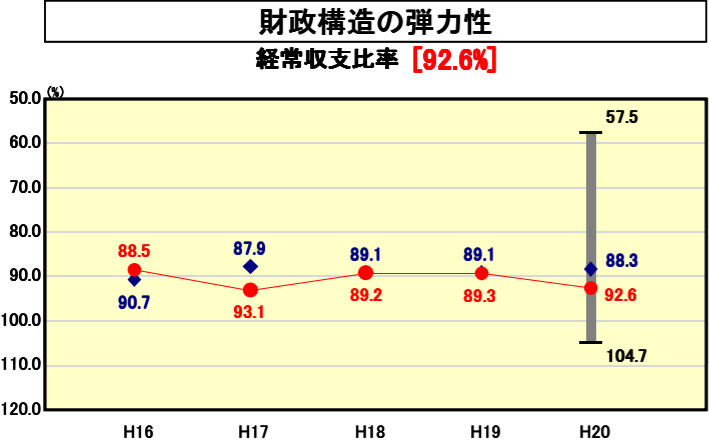
人口	8,178 人(H21.3.31現在)
面積	30.40 km ²
標準財政規模	2,091,695 千円
歳入総額	2,956,298 千円
歳出総額	2,801,051 千円
実質収支	138,427 千円



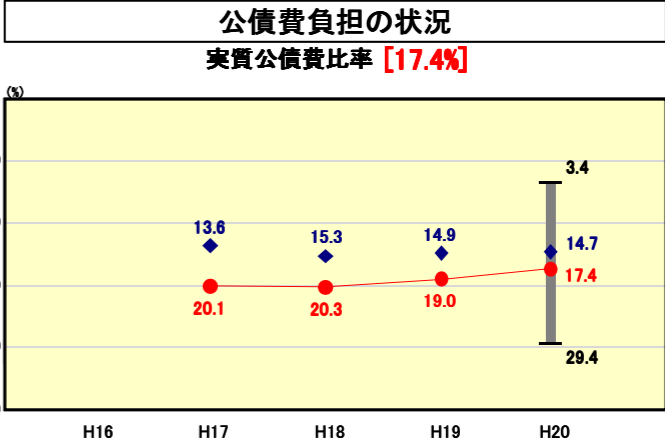
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



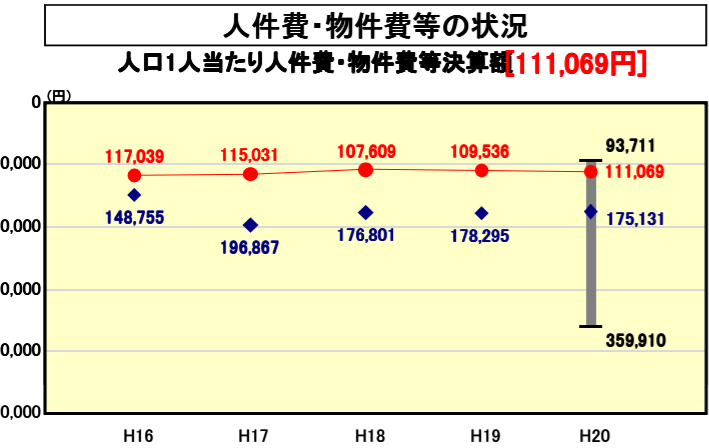
類似団体内順位 64/78
全国市町村平均 100.9
埼玉県市町村平均 78.6



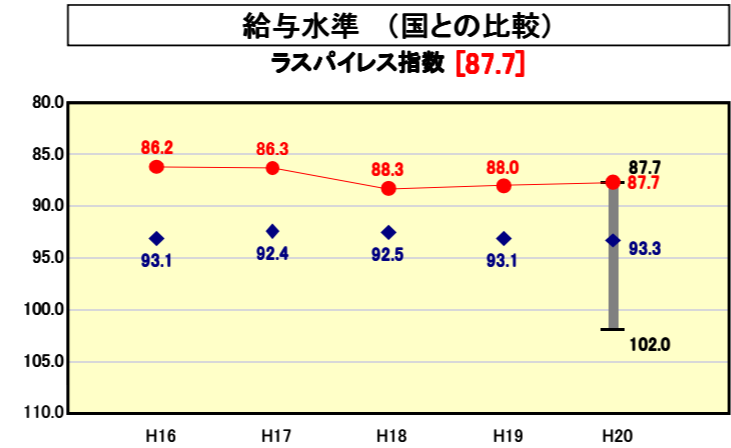
類似団体内順位 54/78
全国市町村平均 91.8
埼玉県市町村平均 89.6



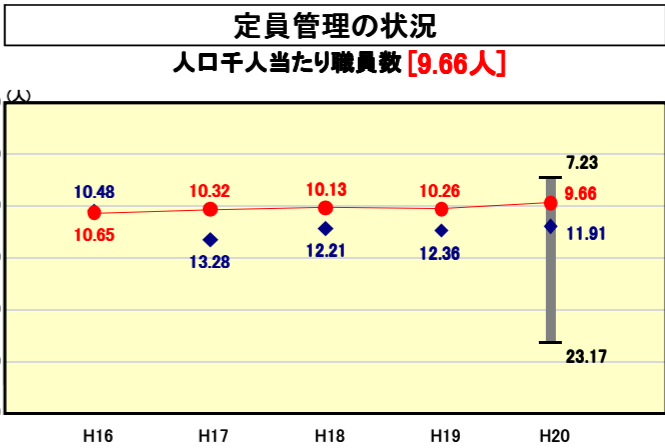
類似団体内順位 59/78
全国市町村平均 11.8
埼玉県市町村平均 9.7



類似団体内順位 5/78
全国市町村平均 114,142
埼玉県市町村平均 97,017



類似団体内順位 1/78
全国市平均 88.4
全国町村平均 94.6



類似団体内順位 14/78
全国市町村平均 7.46
埼玉県市町村平均 6.20

※人員費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
ここ数年は連続した伸びを見せており、0.53となっている。類似団体の中では若干高めであるが、今後も行政改革大綱・計画に沿った歳出の削減と歳入の確保に取り組み、財政の健全化に努める。

○経常収支比率
人員費や物件費、補助費等、公債費などは減となったものの一部事務組合に対する繰出金のうち下水道の分流式下水道等に要する経費に係る繰出金が基準内繰出しとされ、経常一般財源に計上したことにより、5.5%増加したため、前年度から3.3%増の92.6%となっている。類似団体と比較して若干高いため、定員適正化計画や行政改革大綱・実施計画に沿って、経常経費の削減に努める。

○人口1人当たり人員費・物件費等決算額
人員費の削減や事務事業の見直しによる歳出の削減に努めた結果、類似団体の平均を大きく下回っている。今後も事務事業の見直しを行い歳出の削減に努めるとともに、一部事務組合の人員費・物件費等に充てる負担金を抑制するため、事務事業の見直しや効率的な財政運営に努めるよう要望を続ける。

○将来負担比率
社会福祉法人への損失補償を新たに計上したため、類似団体の平均値を100.7%上回っている。法的な債務を負っているわけではないので、町財政に影響を及ぼすことはないが、過大な経営とならないよう社会福祉法人の財務体質の報告を求め、事前に把握するとともに連携を密にして健全経営を推進する。

○実質公債費比率
町の起債制限比率は低率になっているが、一部事務組合の公債費への負担金が重なり、類似団体の平均を上回る17.4%となっている。町では平成18年度に公債費負担適正化計画を策定し、数値の抑制に努めており、前年度からは1.6%減少している。さらに平成21年度には、財政健全化計画を作成し、長期的な財政運営で計画に沿った地方債の発行、一部事務組合の公債費への負担金の抑制に努める。

○ラスパイレス指数
類似団体の中でも一番低い水準にあるが、職員手当についても見直しを行っている。今後も財政健全化の観点から、人員費の削減に努める。

○人口1,000人当たり職員数
類似団体の中では、低い水準にある。今後も定員適正化計画に沿って、効率的・効果的な行政運営に努める。